

いなべ市シルバースローガン

守ること しっかり守って 事故はなし

* 事故の発生状況 H23年2月末現在*

《福祉バス事業 2月は無事故達成》

昨年来、福祉バス事業では、些細な運転操作ミスによる事故が発生していますが、2月は無事故を達成いたしました。

『市民に愛され、信頼される福祉バス事業づくり』をモットーに、安全委員会では、理事会の全面支援を受け、今後も尚一層の安全運行・事故撲滅に邁進します。

2月発生分	シルバー事業	バス事業	計	年度累計
傷害事故	2	0	2	8
賠償事故	0	0	0	23

全面支援



《シルバー事業で事故1件発生》

2月7日（月）男性就業者。ノコギリを使用して立木の枝払い作業中に被災。切った枝が左手を直撃し、小指を骨折。通院治療約1ヶ月の診断。「木は生き物」＝“生木だろうと枯れ木だろうと、なめたらイカン”＝というのが通説。

にもかかわらず、本件は、一気に切り落とそうとして、幹に近い太い部分を切った途端、切った枝木がバネのように勢いよく弾み、左手を直撃。もしも、数回に分けて短く寸断していれば、こうした現象は防ぐことができました。

《シルバー就業途上事故1件発生》

2月14日（月）女性就業者。朝、マイカーで就業場所に向かう途上での衝突事故。

直進走行中、信号のないT字路にさしかかった際、その脇道から、高齢の男性ドライバーが運転するワゴン車が一旦停止をせずに飛び出し、右折しようとした。そのため、急ブレーキをかけたものの間に合わず、相手車両の右側スライド・ドアに衝突。その衝撃により、ブレーキ・ペダルを踏んだ状態で右ひざを強打し、骨折を招いた。現在、通院治療中。尚、相手側は物損のみとのことである。減速しながらクラクションで警告するなり、安全運転には充分注意して下さい。

* 平成22年度第4回安全適正委員会だより

去る2月28日（月）平成22年度最後の委員会が開催されました。主な内容について報告します。

●路線バス巡回試乗結果：総じて運転者間において、乗務態度、接客態度、運転技能等に優劣差が見受けられるとのことです。そうしたことから、今後取り組むべき課題を整理し解決してゆきたいと、委員会一同気を引き締めています。

●企業4社巡回訪問結果：安全適正の面から4社とも全く問題はなく、企業サイドの配慮が伺われました。また、シルバー会員ならではの誠実な就業態度が高く評価されるなど、感謝の声まで聞かれました。

●県シ連主催安全就業推進大会参加報告：これは新入会員を対象に、就業上の安全確保の促進を目的に行われる大会で、去る2月11日（金・祝）四日市市勤労者・市民交流センターに於いて開催されました。いなべ市SCは登録者71名中、参加者36名（出席率50.7%）と低迷。安全就業推進大会への参加はシルバー会員の義務ですので、次年度には必ずご出席ください。

●委員会では、就業者の安全確保の観点から屋外作業用『安全チョッキ』を用意いたしました。シルバー本部で保管してありますので、せいぜいご利用ください。支部長を通して貸し出します。